



写真32 殺害現場となったアンテナ基地。

このアンテナ基地に登るためには、獣道を通らなくてはならない。この道は険しく、表面に植物がなく、土気色した岩肌の急斜面である。登るには、勢いをつけ、気をつけて登らないとまらない。この獣道はまさしく、現実社会と空想社会とを隔てているように思える。この獣道を上がると、今まで見てきたタンク山自体の雰囲気が一転する。タンク山までは人の手が加えられた世界であるが、獣道を登ると、人の手がほとんど加えられておらず、それまでの世界とは異なる空間が広がる。

この道を登り切り、森の闇へと飲み込まれていく。そして、遺体が切断され、頭部から下が隠されていたアンテナ基地へと続く。

(2) アンテナ基地

アンテナ基地は、空想社会の森の中に、突然作られた無機質なアンテナのジャングルとなっている。アンテナ基地に近づくと、山の緑も深くなり、鬱蒼としている。やはり、事件現場だと知っているためか、心地が良いものではない。

アンテナ基地の入り口付近に近づくと、闇は晴れる。人の手によって、明かりが差し込むように作られている。しかし、やはりそこには事件の現場であった陰を残している。花が供えられ、千羽鶴、お菓子、淳くんが好きだった亀の置物がおかれている。

また、遺体が隠されたアンテナ基地の下には、それまでは何もされていなかったが、現在ブロックで囲われている。このブロックによって、何か救われるような、また、ど

こか事なかれ主義的なものも感じてしまう。

普段南京錠が掛けられており、事件の際少年が金のこで切ったといわれる部分にも、鉄板で囲いを作っていた。この、ブロックと鉄板が、日本的な世間体を気にする社会観、くさいものにはフタをしろ的な感覚を語っているのではないか。

(3) タンク山の森

アンテナ基地付近の森は、闇につつまれている。この闇が、子どもたちの空想をかきたたせる。鬱蒼としており、事件があったということを知っているせいか、不気味な感じがする。

また、この森では中学生が受験に失敗して、首をつった森ともいわれている。

しかし、この森には、子どもたちの空想や好奇心を満たすだけの魔力を持してる。この森に身を任せていると、神秘的な気分にもなるし、あふれ出す空想の世界へと容易に飛ぶことが可能である。

少年がこの森で暇をつぶしていたという記述が多くあるが、少年だけでなく、子どもたちにとってこの森は、格好の遊び場所であったのであろう。

また、この森に逃げ込んだ社会に適応できない子どもたちは、シンナー遊びやタバコを吸ったり、さまざまな「悪いこと」をしていたことは容易に想像できる。それだけの許容量のある森であることを実感した。

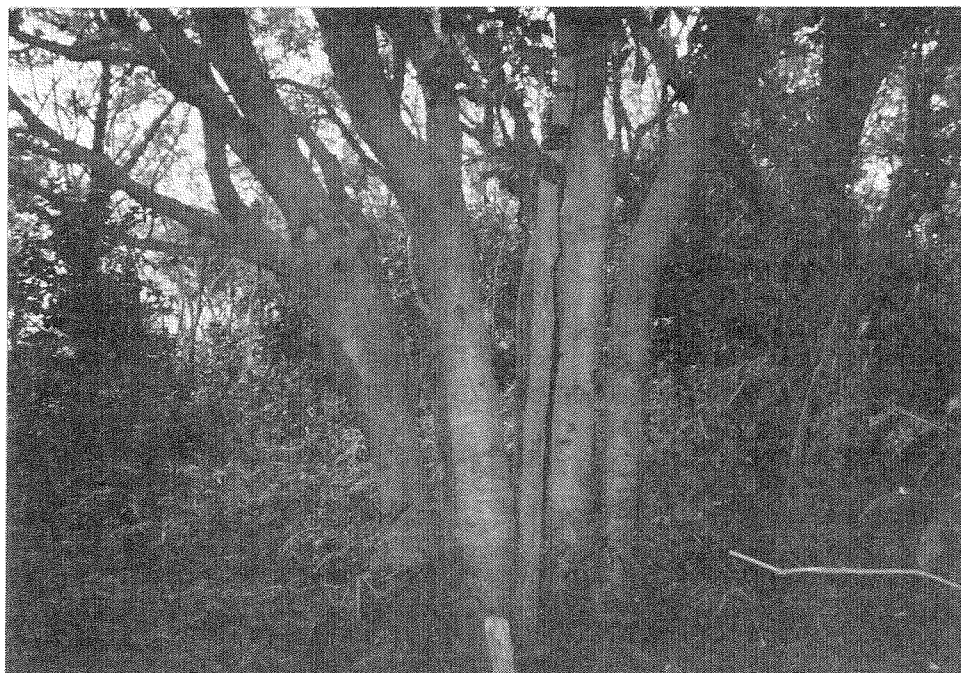


写真 3 3 タンク山の森。

タンク山から下山するため、チョコレート階段に向かうとき、下から2人組の中年男性が登ってくる。首から一眼レフを下げ、手には事件現場を記す雑誌の地図のコピーをもっている。この男性も、まわりの視線を気にしながら事件現場を訪れており、筆者があたかも地元住人であるかのように、堂々と振る舞っていると、視線を避けるようにそそくさと登っていった。

6. 友が丘中学校

タンク山を下り、淳くんの頭部をおいた「友が丘中学校」へと向かう。報道では、学校側が、校門撤去をしようという動きがあったということを知っていたため、どうなっているのだろうと不安であった。体育館脇の小さな門を改築し、そこを校門としている様子がうかがわれたが、頭部がおかれていた正門も、現在利用されており、そこを利用している男子生徒がいた。

ここにきて一番驚いたことは、友が丘中学校の正門は、車道が下を走っており、歩道のみがあるような、人通りの少ない道路に面しているところである。少年はどういった意図で学校の正門に頭部をおいたのか、すぐに理解することはできなかった。多くの人に、自分の存在を示すためではなく、少年の生活世界の中での存在を示すためだったのか。

生徒たちは12:45頃にもかかわらず、部活動をしていたり、帰宅する生徒がいたので、中間テストの最終日であることが予測される。改築された方の校門付近には、男子生徒が10人くらいおり、校門に腰掛け、ふざけ合いながら話をしている。服装の乱れも見られず、髪の毛も黒髪の生徒ばかりである。

女子生徒に目を向けると、やはりスカートの丈は標準で膝下、靴下も白のハイソックスと、学校の規定通りの服装ばかりである。

道路に面したところに、テニスコートがあり、男子テニス部が練習をしている。驚いたことに、友が丘中学校のテニス部は硬式テニスで、公立中学校に硬式テニス部が存在することはいまだ珍しい。そして、練習している男子部員の中で、小さい頃からテニススクール通いをしているであろう生徒が多いことも予測される。幼稚園のお迎えの車といい、小さい頃からテニスを習わせている点など、この付近の住人が、かなり階層的に高い様子がうかがえる。

友が丘中学校には、すでに少年と同学年の生徒は卒業しており、在籍していないため